



小平中学校 学習に関する瓦版

NO16

平成26年 8月29日（金）発行

文責：川野邊勝也

全国学力テストの結果から



今週26日（火）の新聞に、4月に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が公表されました。

この調査は、毎年、小学6年生と中学3年生で実施されています。国語、算数・数学の2教科でのテストですが、国語、算数・数学とも基礎的な力を見るA問題と、活用力を見るB問題に分けて行われますが、小平中としては、思ったような結果が出なかったのが現状です。

《テスト分析》

国語＝文章読解力は身につけてきているが、「目的に沿って話し合い、互いの発言を検討すること」（「話すこと・聞くこと」）、「文章と写真、イラストなどを関連づけて理解し、自分の考えを書くこと」（「書くこと」）に課題が残る。

数学＝2元1次方程式、反比例、資料の活用に関する正答率が高いが、数と式の領域で、分数が出てくると正答率が低くなる。また、証明など記述式の問題の正答率が低い。

調査では、テスト以外に、「質問紙」による意識調査も行われており、以下、参考になるデータを掲載したいと思いますので参考にしてください。

児童生徒の学習・生活習慣と学力の関係（一部抜粋）

◆次の児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向が見られる。

- 国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い。
- 家庭学習・読書
 - ・ 学校の授業時間以外での学習時間が長い。
 - ・ 自分で計画を立てて勉強をする。
 - ・ 学校の宿題、授業の予習・復習をする。
 - ・ 読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い。
- メディアとの関係
 - ・ 携帯電話やスマートフォンで通話・メール・インターネットをする時間が短い。
 - ・ テレビゲームをしている時間が短い。
- 家庭でのコミュニケーション
 - ・ 家の人と学校での出来事について話をする。
- 社会に対する興味・関心
 - ・ 地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がある。
 - ・ 新聞を読んでいる。
 - ・ テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る。

上記項目に自分がいくつ当てはまっているかどうか考えてみるとよいのではないのでしょうか。家庭での生活、学習を振り返る良い機会としてください。

